

ぎょうだびと

行田人

第9号誌

2021年 [制作・発行]

- 行田市在宅医療・介護連携推進協議会
- 行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当

TEL.048-556-1111
(内線 338・278)

ご自由にお取り下さい

行田人(ぎょうだびと)は、行田市の「医療と介護の連携」を推進・紹介し、市民のみなさんの生活をサポートする広報誌です。

在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護が連携して、地域住民の療養や生活を支援する取り組みを行っています。

30年後(2050年)のふら平とぜに子

第7弾!

ふら平さん サポート大作戦!

行田市在住のふら平さん一家の30年後。

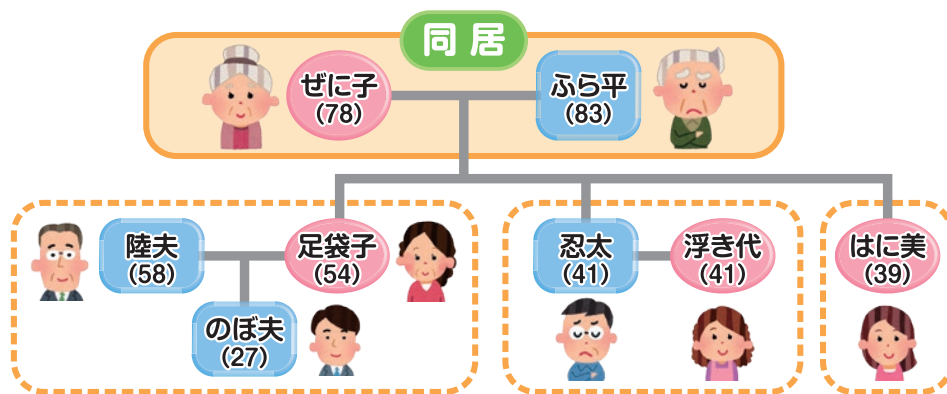
だいぶ体が不自由になってきているふら平さんを支えるために、医療・介護の専門職がどのように関わっていくのかをご紹介します。

ぜに子 (78)

体の問題はない。軽い物忘れあり。大きな病気はなく、ふら平の身の回りの世話をしている。60才から始めたお花の教室を自宅で開催している。

脳梗塞の後遺症、肺気腫。78才の時に軽い脳梗塞を患い、進行性の肺がんもある。肺の病気のため、動くとき息が切れ、寝たり起きたり。「わしゃ家で死にたい」と言っている。

ふら平 (83)



様々なサービス等を利用して、ふら平さん一家を支えています。

家に来てもらってサービスを受ける

- 在宅往診医
- 訪問歯科診療
- 訪問看護
- 訪問薬剤指導
- 訪問リハビリ
- 訪問入浴
- ホームヘルパー (訪問介護)

通いでリハビリやサービスを受ける

- デイケア (通所リハビリ)
- デイサービス (通所介護)

泊まりでの介護や入院など

- ショートステイ [短期入所生活介護] [短期入所療養介護]
- 病院

様々な相談をする

- ケアマネジャー
- 地域包括支援センター
- 在宅医療・介護連携支援センター

今回は「ケアマネジャー」と「行田市地域包括支援センター」に注目してみましょう。

住み慣れた自宅での生活を希望するふら平さんを支えるために…

30年後のふら平さん(83歳)

脳梗塞の後遺症、肺気腫。

78歳の時に軽い脳梗塞を患い、進行性の肺がんもある。
動くと息が切れ、寝たり起きたりの生活。



この先、私が万が一病気になったら…
と考えたら不安ばかり。
そんな時は誰に相談したら良いのかしら？

在宅サービスの拠点として、在宅生活をサポートします。

ケアマネジャー

目的

ご利用者の身体的・精神的な状況に合ったサポートを行い、自立した日常生活が送って行けるように支援することを目的としています。

内容

ご相談ご要望に合わせてケアプランを作成し、それに沿って適切な介護サービス提供者・サービス事業所との調整を行います。



行田市ケアマネ連絡会

行田市にある居宅介護支援事業所(ケアマネジャーが在籍する事業所)や施設ケアマネ、包括支援センターの主任ケアマネ等が集まり、毎月1回程度ではありますが、勉強会や情報交換を行っています。

- 1 病院・施設・包括支援センターからの相談依頼、又は直接ご本人様やご家族様からご相談を頂き、ご自宅へとお伺いし生活に対するご意向を伺います。
- 2 ご本人様ご家族様と共にケアプランの目標設定等を行います。
- 3 目標をクリアする為に、必要なサービス事業所のご紹介や利用頻度・料金等のご説明をさせていただきます。
- 4 サービス事業所が決定しましたら、担当のケアマネジャーがサービス事業所へ連絡相談し、サービス調整を行います。
- 5 サービス調整が終了した時点で、ご本人様ご家族様を含めて担当者会議と呼ばれるお話し合いを行います。利用頻度やサービス内容、サービス開始時期等の最終

的な打ち合わせを行います。

- 6 担当者会議の後に、サービス開始となります。
- 7 サービス開始後につきましては、毎月最低1回はご自宅にご訪問させて頂き、ご意向やお体の状況、サービスの内容等を確認させていただきます。
- 8 介護保険有効期間満了時期や新たなサービスを導入する際、状態が著しく変化された際などは、再度お体の状態等を確認させて頂き、ご意向に合わせてプランの変更等の対応を行います。
- 9 その後、上記内にも有りますサービス事業所を含めた担当者会議を行い、ご意向に沿ったサービスが提供される様調整を行います。

行田市地域包括支援センター

高齢者とその家族の身近な総合相談窓口です。

地域包括支援センターの役割

住み慣れた地域で安心して暮らして行けるように、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から高齢者とその家族を支えています。

こんな方が相談できます

一人で悩んでいませんか？
高齢者の方々、高齢者のご家族、近所や地域の方々、ケアマネジャー等の方々。相談は無料!



こんな相談があります

「ご近所の高齢者の方が、最近閉じこもりぎみで心配」
「最近物忘れが多くなって心配」
「介護保険を利用するにはどうしたらよいか」
「これから先、お金の管理が出来なくなったらどうしたらよいか」

さまざまな相談に応じます

主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師等が連携をとりながらチームとして活動しています。
また、必要な機関と連携をはかっています。

ご相談・お問合せは

裏面各地区の地域包括支援センター
または 行田市役所 高齢者福祉課 包括ケア担当
(TEL 048-556-1111)までご連絡ください





“新型コロナウイルス感染拡大”という難題によって、社会情勢が大きく変化しています。講習会についても、これまでは大きなホールに参集しての開催が中心でしたが、現在は会場に集まることなく好きな場所から学習できるオンライン講習会が主流になっています。行田から2時間近くかけて参加していた都内で開催される講習を、移動時間なく受講できるのは大きなメリットです。

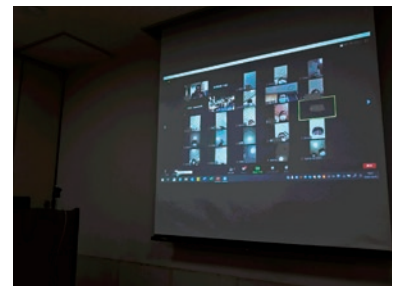
行田市在宅医療・介護連携推進協議会では、「コロナを正しく恐れる～新型コロナ対策Zoom講習会～」を開催するにあたり、事前に

“Zoomを使ってみよう”講習会を行いました。2020年10月29日・11月9日・12日と3回に分けて行われた講習会には、25事業所から合計47名の参加を頂きました。

密をさけて学習するツールの代表的なアプリが“Zoom (ズーム)”です。「インストール」とか「ミュート」とかカタカナ用語に抵抗を感じていた方達も、使ってみたら意外と簡単だということをご理解いただけたのではないのでしょうか。「医療・介護現場は、テレワークとはいかないんだよ」と考えていた方も、オンライン等のデジタルの波は私たちの身近にも届いていることを感じて頂けたかと思います。

第3波の渦中となっており、医療・介護現場はさらに気を引き締める必要があります。コロナによって迎える新たな社会、新しい形で情報収集を行い現場に活かして頂けたらと思います。

江黒歯科クリニック 江黒 徹



行田市地域包括支援センター 担当地域表

機能強化型地域包括支援センター 緑風苑

【住所】須加1563 【電話】557-3611

担当地区／須加、北河原、長野、佐間の一部（一旭、二旭、向町、緑町）

地域包括支援センター まきば園

【住所】白川戸275 【電話】550-1777

担当地区：星河、荒木、南河原

地域包括支援センター 壮幸会

【住所】下忍1162-14 【電話】552-1123

担当地区／太井、下忍、持田の一部（持田五丁目、持田砂原、菊野台、持田西、三井砂原、三持田西部、前谷、棚田三丁目）

地域包括支援センター ふあみいゆ

【住所】下須戸65-1 【電話】558-0088

担当地区／埼玉、太田、佐間の一部（大町、一佐間、二佐間、神明、三間）

地域包括支援センター ほんまる

【住所】本丸18-3 【電話】578-7761

担当地区／忍、行田、星宮、持田の一部（菅谷、一持田北、一持田南、県営持田団地、持田長町、二持田第一、二持田第二、二持田蔵場、三持田大宮口、三持田東部、駒形、西駒形）

「行田人 (ぎょうだびと)」は、市内医療機関、歯科医院、薬局、介護事業所、市役所窓口等で配布しております。ご希望の方は各機関の窓口にてお申し出ください。

